

JID

NEWS

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報

1988 11・12

選考委員の選挙

選挙管理委員長 宇 塚 嘉 寿

昭和64～65年度選考委員選挙の開票は、去る12月9日事務局においておこなわれた。その概略は下記のとおりです。

記

- ・日 時 昭和63年12月9日午後1時
- ・出席者 委員長 宇塚嘉寿
副委員長 工藤広忠
委員（ABC順）伊集院 俊 松島由美子
佐々木孝子 瀬尾清 脇田正彦（以上準会員）
伊藤公子 田中作弥子（以上事務局）

- ・投票数 投票用紙発送数 586（過半数 294票）
" 開票数 309
" 無 効 0（無効投票なし）

・開票の結果（得票数順）

当選	渡辺 優（得票数	114）
"	川上 信二（ "	107）
"	三輪 正弘（ "	81）
"	中村 圭介（ "	68）
"	白石 勝彦（ "	61）
"	泉 修二（ "	54）
"	山品 元（ "	54）
"	喜多 俊之（ "	51）
"	光藤 俊夫（ "	50）
"	松本 哲夫（ "	46）

目 次

●選考委員の選挙.....	1
●63・第4回理事会議事録.....	2
●「賛助会員フォーラム」準備担当者会議.....	6
●会員数と事業規模の推移.....	8
●会員2氏に大阪府知事表彰.....	9
●新入会員の紹介.....	9
●会員の移動.....	13
●「協会印刷物」頒布案内.....	14
●事務局短信.....	15

次点 大野美代子(得票数 44)

森谷 延周(" 42)

長岡 貞夫(" 41)

● 選考委員の業務について

選考委員は、当該年度のインテリアデザインおよびインテリアプロダクトデザインの分野における重要な業績を明らかにし、その振興と開発を目的としているが、その主たる経常的業務として、毎年度協会賞の受賞候補を選考しているが、この他“国井喜太郎産業工芸賞”“野口記念賞”“エイボン芸術賞”等の推せんをおこなっている。

● その他

投票率の向上のために一層のご配慮をお願いしたい。

なお、今回の投票率は52.7%でした。

無効票の出ないようにご留意下さい。但し、今回は無効票が零で喜ばしいことでした。

最後になりましたが、ご多忙中午後いっぱいご尽力いただいた各委員の皆様へ厚くお礼申し上げます。

63・第4回理事会議事録

1. 日時 63. 11. 25 (金) 13:30~17:30

2. 場所 JIA 3階 会議室

東京都渋谷区神宮前2-3-16

建築家会館

3. 出席者 (別掲の通り)

4. 議題

I. 議案

第1号議案 事業推進について

第2号議案 協賛・後援名義承認の件

第3号議案 入退会承認の件

第4号議案 事務局長の更迭について

第5号議案 議事録署名人の選任について

5. 議事

はじめに議事につき、議長として渡辺理事長より説明あり、報告事項より審議に入る。これに先立ち、山品事務局長より「理事総数15名中、理事15名(本人出席13名、委任状2名)で本理事会は成立した」旨、定数報告がなされた。

第1号議案 事業推進について

議長は、資料に基づき、主に次の項目について、そ

れぞれ担当の理事に概況説明を求めた。(カッコ内発言者)

・項目

イ 記念事業関係

ロ 各委員会経常事業関係

ハ IFFT '89 併催イベントほか

ニ 世界デザイン博覧会ギャラリー共同展

ホ 第21回通常総会開催日程等

イ 記念事業関係(川上信二副理事長)

記念事業委員会(川上信二委員長)の委員会活動経過が記録として提出された。

また、同時に事業の推進状況が一覧表として示され、展示、研究、交流、出版、広報、財務、統括の各事業区項目順に内容が説明、報告された。

各詳細については、JID NEWS 特別号誌上で会員に広報される。(以上、川上説明)

これに対し、記念事業基金の会員への募金勧誘時期(川崎)、展覧会の内容と時期(富田)、新インテリアマップ(長岡、渡辺)等につき、活発な意見が出された。

以上を渡辺議長が総括、理事会は了承した。

ロ 各委員会経常事業関係

・選考委員会(川上)

「野口記念事業」関係は、本年度特別企画とする案もあったが、正副委員長合議の上、公募10回目に行う方向を考えている。委員会に諮って確認する。30周年記念事業の中で、とり上げるのはどうか、の線も検討している。

「国井喜太郎産業工芸賞」の本年度推薦依頼が来ている。12月初旬に委員会に諮る予定である。

・総務委員会(森谷)

「新JIDパンフレット」を10月に作成した。従来のもものと入れかえる。また、「規定集」の内容見直しを進めている。30周年記念事業での式典、パーティ、表彰等の企画にとり組みたい。また、財務委員会、組織委員会関係では、「会員拡大キャンペーン」を継続して推進中である。

・国際委員会(長岡)

国際委員会では、11月22日国内関係担当の交流委員会との情報交換を兼ねて合同委員会を持った。来年の名古屋をはじめ各都市のイベントも国際的に関

係が深いものが散見される。また、タイ国のインテリアデザイナー団体について、現地出張の際調査した。

・交流委員会（大野）

来年の世界デザイン博覧会（名古屋）に照準を合せ、全国規模の会員相互親睦大集会を計画したい。そのため、数日中に「アンケート調査」を実施する予定である（以上、事務局長代行発言）

・広報委員会、出版委員会（泉）

記念事業については先に（10月28日）第1回の報道発表を行ったが、この種のことを継続的に行うよう考えている。ポスターの企画がある。また機関誌「インテリアデザイン」は現在108号、109号を企画中である。110号は特別号と位置づけているので、情報提供等、各部会にも協力をお願いしたい。

・インテリアマップ委員会（長岡）

30周年記念事業の一環としての出版である。企画書「インテリアマップ・全国主要都市版（仮称）」により、各支部より担当委員を指名し、協力する方向はどうか、と意見が出された。

・資格制度対策委員会（中村）

本年度の「インテリアプランナー講習」について資料配布を行い、会員にPRを行った。

ハ IFFT '89 併催イベントほか

JAPAN TEX '89 併催の、「第2回日本インテリアテキスタイル作家展」については、主催者団体である日本インテリアアブリックス協会の同展実行委員会（三輪正弘委員長）で案が決定し、現在指名作家に出展を依頼中である。

また、63・第3回理事会「報告事項④」で了承されたIFFT '89 併催イベントの企画案提供についてはその後第1回（63.10.7付）、第2回（63.11.1）と対応を敏速に行った。

第2回については先方の意見も容れ、モディファイした案となっている。その結果、ここに提示するように先方より文書で意見が寄せられている。更に今後委員会として対応を続行する予定であるが、理事会としての確認事項、重要ポイント等をうけ給りたい。以上三輪委員長より発言された。

時期等より、記念事業に積極的に関係づけるのには些か無理がある。独立の企画として委員会に委ねては

どうか。（渡辺議長）、企画料等の可能性は考えられないか（長岡）、時期等難かしい（川上）、巡回展との関連、会期の合致性など困難が伴う（川崎）、巡回展の内容との合致性（榎田）、IFFT '89の出品状況、見込等の情報（山品）、入場者動員10万人の大会達成の一助という主催者の願望にマッチする企画を先方は求めている（榎田）

JID出版物「世界のインテリア」に包含される豊富な情報とデザイナーに関する情報源を積極的に活用したい（三輪）。

以上、活発な意見が出された。渡辺議長がこれを総括し、対外折衝も含め委員会に一任することを諮った。理事会は承認した。

ニ 世界デザイン博覧会ギャラリー共同展

世界デザイン博等担当委員会（宇賀委員長）より下記のように概要説明と経過が述べられた。

世界デザイン博に関連して、プレイベントが地元名古屋で活発になってきた。これには、中部会員が積極的に出席している。また、配布資料の博覧会「展示ギャラリーイメージコンセプト」、「JID、JCDA、JJDA 3団体展示計画案」にあるように、ギャラリー共同展企画も大詰めを迎えている。3団体のための会場レイアウトはJIDが担当する。

有効面積約500㎡、会期64.8.26（土）～10.5（木）の6週間。地元団体を含め、10団体の共通テーマは特に設けないことに決定している。これに対し上記3団体のテーマは「新作法の創造」——新しいコミュニケーションのために——となった。

63.11.24（土）の、世デ博等担当委員会で基本案を練り上げたので、いづれ会員に出品依頼とPRをすることになる。機関誌上（108号）でも呼びかけを行う予定。

また、主催者である世界デザイン博覧会協会より拠出金は記念事業等特別会計との関連はどうか、と宇賀理事は発言した。渡辺理事長は山品事務局長に説明を求めた。事務局長は、「拠出金の性格上、記念事業の枠内としても、独立会計科目として扱うことになろう」と提案した。議長は理事会にこれを諮った。理事会は財政のことも含め、この件を了承した。

ホ 第21回通常総会開催日程等

森谷理事より総務委員会で検討した案として下記の

開催日程等が示された。

開催予定年月日 1989. 5. 26 (金)

通常総会

記念式典

講演

祝賀パーティ

場所：東京「日本青年館」

官公庁、他団体との関連があるが、とりあえず日本青年館を予約することはどうか、と渡辺理事長が提言した。理事会はこれを了とし、予約することを決定した。

引き続き、支部関係の事業進捗状況につき、議長は担当理事に発言を求めた。(カッコ内発言者)

・関東事業支部(中村)

11月18日、旧岩崎邸(明治期の、木造建造物)の見学会を開催した。61名の参加を得た。

また、見学会に続き、懇親会を催した。和やかな雰囲気では会員相互の親睦の面でも大きな実があがった。

来春に予定されている「クィーンエリザベスⅡ世号」の見学会(1989. 4. 8)には167名にのぼる多数の申込があり、主催者が定員の上で難色を示している。現在、折衝中である。一部、5月6日に廻る申込者がやむを得ず出る可能性が大きい。

・関西事業支部(富田)

10月12日を皮切りに記念事業に関連して「展覧会」を中心議題に会合を重ねている。12月初旬に予定されている常任委員会による記念事業キャンペーン(於大阪デザインセンター)で十分に意見を結集したい。

渡辺議長より、「国際デザイン展'89(1989. 11. 17~26 インテックス大阪)」について、対応窓口を関西支部にお願いしたい、と提言した。文書等の窓口は本部事務局となろうが、実質面では関西支部にお願いすることを、理事会は決定した。

・九州事業支部(中川)

「アジア太平洋博覧会福岡'89(63. 3~9月)」の会場に近接する福岡銀行イベントホール(約60坪)を確保できることとなった。会員作品展を現在企画中である。ただ、6ヶ月にも及ぶ長期間なので、ぜひ記念事業委員会とのジョイントで成功を期したい。

以上に対し、川上記念事業委員長より会員へのPR周知を十分に行いたい、と発言があった。

渡辺議長、各事業支部の事業推進につき謝辞を述べ総括した。理事会は中部事業支部も含め、了承した。

第2号議案 協賛・後援名義承認の件

議長は下記8件について事務局長に説明を求めた。事務局長は資料に基づき説明を行ない、実施について報告した。議長は本件について承認を諮った。理事会は異議なく承認した。

- | | |
|---------------------------------|------|
| ○デザインフォーラム'88エヒメ | <後援> |
| 主催 愛媛県 | |
| (63.10.28 松山市) | |
| ○第1回アワードデザイン塾 | <後援> |
| 主催 ㈱アワード | |
| (63.10.18~64.3.24 徳島市) | |
| ○第7回JAGDAコンピューターシンポジウム | <後援> |
| 「グラフィックデザインの現場-CG」 | |
| 主催 ㈱日本グラフィックデザイナー協会 | |
| (63.11.8 東京) | |
| ○国際デザインコンベンション'88 — 大阪 — | |
| — 熊本 — <協賛> | |
| 主催 ㈱国際デザイン交流協会 | |
| (63.11.28 大阪, 63.11.30~12.1 熊本) | |
| ○「第3回ヨーロッパ・リビングエレガンス展」 | |
| 及び「ノースアメリカン・ショーケース」 | <後援> |
| 主催 ㈱イー・エム・エス | |
| (64.5.24~27 東京) | |
| ○第4回国際デザイン・フェスティバル | <協賛> |
| 主催 ㈱国際デザイン交流協会 | |
| (64.11.16~26 大阪) | |
| ○第27回「'89春インターナショナル・ギフト・ショー」 | <協賛> |
| ○第1回「インターナショナル・ギフト・ショー西日本'89」 | <協賛> |
| 主催 ㈱ビジネスガイド社 | |
| (64.2.5~7 東京, 64.3.1~2 神戸) | |

第3号議案 入退会承認の件

議長は下記19件について事務局長に内容の概括説明を求めた。事務局長は資料に基づき説明した。理事者はそれぞれ資料の審議を行った。

・正会員の入会（15件）

氏 名	種 別	保 証 推 薦 者
梶 谷 富 夫	正会員	中村 圭介・山品 元
増 井 幸 昭	"	奥山 壽一・林 寅正
佐 野 日奈子	"	山本 信・田中 博
工 藤 道 雄	"	" ・種田 亜男
桜 井 宏	"	島崎 信・宮澤 靖
吉 田 ジュンコ	"	中川 斉二・森谷 隆男
清 家 淳 一	"	山崎 晶・浅田 弘之
藤 田 真 二	(準)より	梶谷 寛一・宇賀 敏夫
高 橋 憲 治	正会員	中川 斉二・宮嶋恵美子
小 林 正 典	(準)より	大阪 克彦・中村 昇
藤 原 貴 子	正会員	斉藤 武行・山品 元
瀧 本 英 男	"	わたなべひろこ・山岸 征史
中 沢 ひろし	(準)より	長岡 貞夫・市瀬 昌昭
中 曾 雄 二	正会員	川上 信二・垂見 健三
宇 野 隆	"	富田 卓司・山口 道夫

・賛助会員の入会（3件）

名 称	種 別	紹 介 者
ヒューマン・アカデミー	賛助会員	相澤 晴夫
(株)アトリエ・エイティエイト	"	光藤 俊夫
(株)マルニファニシング	"	小坂希八郎

・賛助会員の退会（1件）

名 称	種 別	摘 要
インテリアコーディネーターアソシエーション	賛助会員	

理事会はこれを諮り、いずれも異議なく承認した。会員数は合計で730名(社)となった。種別では、名誉会員32名、正会員574名、準会員28名、賛助会員96社である。

第4号議案 事務局長の更迭について

山品事務局長より、63・第1回理事会（63.5.24）第7号議案上程以来6ヶ月の経過について説明した。渡

辺議長が補足を行い、正会員の中で、有力候補と目される人材について打診した結果を報告した。また、事務局長の辞意が固いことから、至急対応する必要があると発言した。川崎、三輪両理事からも、賛成意見が述べられ、榎田監事からも樋口監事との申し合せ事項として一般公募も含め至急人材打診を望む、と発言があった。議長は理事会に諮った。理事会は了承した。

第5号議案 議事録署名人選任について

議長は議事録署名人に三輪正弘・山品元両理事の選任を提案し、承認を諮った。異議なく承認された。

(社)日本インテリアデザイナー協会63・第4回理事会に関し、定款第28条の定めるところにもとづき、議事経過の要領および議決事項を記すため議長と議事録署名人がここに記名捺印する。

議 長 渡 辺 優 ㊤
 議事録署名人 三 輪 正 弘 ㊤
 議事録署名人 山 品 元 ㊤

63・第4回理事会出席者名

渡辺 優, 川上 信二, 中村 圭介, 三輪 正弘 宇賀 敏夫, 中川 千年, 森谷 延周, 長岡 貞夫 大野美代子, 富田 卓司, 山品 元, 泉 修二 川崎 浩
理事総数15名中理事15名（本人13名、委任状2名）
監事 榎田 均

（敬称略・順不同）

6. II. 報告事項

① 「JIDの基本理念」修正起案（63年3回理事会第3号、了承済）

修正起案について、渡辺議長、森谷理事が主旨説明を行った。結果、次回理事会で63・第3回理事会第3号に引き続き上程、審議することとなる。

② JID30 記念事業関係（63.10.28 於 JIA 1Fホール）

- ・プレス発表 15社（15名）来会
- ・「賛助会員フォーラム」準備担当者会議 17社（17名）来会

川上記念事業委員長が概要を説明し、泉理事が補足した。

③ 受託事業（第15回インダストリアルデザイン（インテリアコース）研修）63.11.8 終了

教育委員会で担当の研修事業の概報告を資料に基づき事務局長が報告した。

④ 次期選考委員 選挙管理委員会 人事（63.11.8 付）

委員長 宇塚嘉寿氏（準、関東） 63.11.3 付

委員 工藤広忠、伊集院俊、佐々木孝子、

瀬尾清、松島由美子、脇田正彦の 6 氏

選挙にあたり、役員選挙規定に準拠して、上記委員会が組織され、その任に当る。（以上 63.11.8 付）

⑤ 通産省業務監査実施

63.11.10（木） 本部事務局

通産省検テ室 梶野、伊藤両通産事務官

JID 榎田監事、小野木顧問

榎田監事より監査内容の概要と監査官よりの指摘事項が資料に基づき報告された。概ね良とするものの、監事として一部厳しい指摘がなされた。

また、指摘点の一つ、「会印規程（案）」が事務局より提出された。次回理事会で議題とする。

⑥ 新会員名簿（昭和64年～65年版）

・スケジュール

・広告協力状況

当初、予定されていた年内発行スケジュールが、内容の増加と業務上の理由で、来春に持越さざるを得ない状況であることと、前回に比べて広告協力状況が7割にとどまっている。以上、事務局長より報告された。

⑦ 訃 報

故 星川 昇氏（正会員、関東）

63. 10. 25 11:00 ご逝去 享年64歳

協会より弔意を表した。

事務局長より報告された。

⑧ JIA会員外の「会議室借用」について

薬師神デザイン事務所 会議室

（薬師神親彦所長）

渋谷区神南1-5-14 三船ビル

白石理事よりの打診経過と借用に関わる諸事項が資料で事務局長より報告された。事務局長が薬師神氏を訪ね、内容をつめることとなる。

⑨ 昭和63年度 インテリアコーディネーター試験

中間状況

前年度との比較も兼ね、資料が事務局より提出さ

れた。

⑩ IFIの呼称統一について

報告主旨が森谷理事により説明された。日本語訳が不統一のため、いささかの誤解等も免れないので、ICSID、ICOGRADA等の日本語訳をも確認した上で、次回検討することとした。

以上10件につき、渡辺議長が総括ののち、①、③、④、⑥、⑨を含め、理事会はいずれも了承した。

（文中敬称略）

次回理事会は来春1月25日（水）、東京開催の予定。

（以上）

「JID賛助会員フォーラム」準備担当者会議

去る10月下旬、初めての試みながら、賛助会員各位を対象に、表題のように、懇談の会を持った。日頃協会事業に関して感じていることを含め、各位より活発な発言が得られ、参考にさせていただくことも多く、開催の成果は大きいものでした。

以下、発言要旨です。ご報告いたします。

・日 時 昭和63年10月28日（金）15:00～17:00

・場 所 JIA 1階大ホール

・主 催 記念事業委員会

・出席者 17社 17名（別掲）

記念事業委員会及び本部各委員会委員長

正副理事長、事務局長

はじめに司会進行森谷（延）委員より会議の予定、狙いなど簡単に説明あり、直ちに主催者代表として渡辺理事長が挨拶を行った。今回の記念事業の主旨、協会の概況説明、日頃の事業へのご協力等に対する謝辞を併せて行った。

引き続き、川上（信）記念事業委員長より、資料「日本インテリアデザイナー協会創立30周年事業企画書」に基づき、内容の具体的に説明に入った。

次にご参集各位の自己紹介が行われ、会議はフランクな雰囲気の中に、テーマを中心に質疑が行われた。後半、事業の裏付けとなる財源面でのご協力に対し、田中（聡）委員より狙いと協力希望が述べられ、各社（校）ご担当者より積極的な発言が寄せられた。

・以下、発言要旨です。整理上、アルファベットといたします。

A：展示会事業が一つの大きな柱になっているが、展覧会、巡回展について更に説明して欲しい。

川上委員長，中川展覧会委員長：東京展を例にとれば都心のデパート等相当規模の商業スペース会場として確保し，正会員の積極的な出展を期待している。会員個々のキャラクターを活かしたビビッドな展示の方向をとりたい。また，1989年に計画されている内外のイベント行事等とも相乗効果が挙がるよう計画したい。

B：賛助会員は主に企業体であるので，事前に具体的情報が必要となる。社内への事前広報，PRツールが欲しい。つまり根回しが大切になる。外部一般広報も，企業トップへのPRとしては欠かせない。担当者へのPRと同様，両面作戦が有効なのは。

川上委員長，笠松広報委員長：貴重なご意見として十分今後に活かしたい。担当委員を決め，積極的，継続的にフォローして行く。

C：企業として，記念事業にどういう形で具体的に参加して行くことが可能か検討している。

川上委員長：より具体化した時点で，重ねてご相談の機会を持ちお計りしたい。

D：メインテーマ「ながれ」について補足説明を願いたい。また，当社の場合輸入業務が主体であるので，接点をどの辺におくか，一工夫する必要がある。

川上委員長：メインテーマの補足説明及びD社への希望を述べる。

E：日程について説明を求める。時間的制約及び財政両面について説明を求める。

F：協会事業の主たる意志をズバリ率直に示して欲しい。つまり財政面をどう考えているかということにも大きく関連するので。

E：事業参加や協力は，企業としてどういう意味が出て来るか，という点である。

田中財務委員長：記念事業基金（案）を資料により説明する。骨子とするところは以下の通りである。

- ・予算総額はほぼ 5,500 万円と試算している。
- ・渡辺理事長挨拶にあるように，単純寄附をお願い

するという通常の方法は避け，「事業」を通しての具体的ご協力を仰ぐ，ということを主眼としている。

・具体的「事業」案としての①～⑦は資料の通りです。これについてのご意見，ご希望を賜わりたい。

G：記念事業「企画書」中の，事業内容と，上述の「事業」案①～⑦の整合性はどうか。例として，③「インテリアエレメント 500」カタログの企画はどうか。

渡辺理事長：ご指摘通り。これから更に整合性の面で十分に煮詰めたい。

H：特に注文すべき意見はない。事業の一端に協力したい。

I：③「インテリアエレメント 500」カタログなど，企業としては参加しやすい。社内の，理解も得やすい。ノウハウの面で参加する方法はないか。接点を示して貰えれば社内の理解をとりつけ参加したい。

F：資金面での協力がしやすいのは①～⑦中，④インテリアセミナーなどであろうと思う。また，パーティなど，実支出上加減ができる催事もよい。但し，一定金額以上になると社内の決済は難しくなる。

G：「事業」としての大義名分は，企業内対応処理する上で重要である。単純な寄附金名義は処理が難しい。企業協力上のメリットを鮮明に出して欲しい。企業側としては，自社の商品群，技術力のPRの一端になるようなことを望んでいる。また，協会々員の人材アプローチができ易い企画も歓迎する。

J：協力は惜まない。ただ，企業としての参加メリットは問われるので，その点を十分に考慮して欲しい。企業人として興味の持てる企画をたててもらいたい。

K：他社からも出ているが，事業内容と基金計画との間の整合性がうすい。やや総花的な事業計画であるとの印象を受ける。メインテーマ「ながれ」は文化事業として割り切るものも一案ではないか。

渡辺理事長：個別の各事業毎に財政協力を要請する弊はぜひとも避けたいと考えている。

L：同様，30周年事業を計画している団体に加入して

いる。ここでの例は各企業毎にどのような形で参加するかまだ決定していない。JIDではぜひ明確に示して欲しい。

M：以前に比べ、協会と企業との相互のメリットは変化している。「デザイン」自体のコンセプトも変遷している。企業が持つ独自のデザイン。

N：各事業毎の予算との整合性を煮詰めて欲しい。内容が更に具体化した時点で、インフォメーションが欲しい。社内にPRしたい。

以上、出席のご担当者から活発な意見が述べられた。

・各委員会委員長より、次の順で、各事業の補足が行われた。（カッコ内委員会名）

秋 山 修 治 （総 務）
 宇 賀 敏 夫 （世界デザイン博等担当）
 長 岡 貞 夫 （記念事業委・副委員長）
 後 藤 宣 夫 （国 際）
 吉 良ヒロノブ （出 版）
 中 川 齊 二 （展覧会）
 笠 松 栄 （広 報）

- ・最後に、川上記念事業委員長より会議の総括が行われた。特にしめ括りとして次の2点が強調された。
- ・協会と賛助会員相互のメリットを大切にしたい。
- ・インテリアデザイナーからの、社会的発言を強めた

閉会に先立ち、月末の多忙の折の当会議ご出席に対し謝辞が述べられ、定刻 17:00滞りなく終了した。

（文中敬称略 記録：出版吉良＋事務局山品）

ご出席の賛助会員

㈱ I N A X	東京シンコール㈱
㈱ 岡 村 製 作 所	㈱フジエキスタイル
㈱ カ ワ キ チ	フランスベッド㈱
カルテル・ジャパン㈱	三 国 商 工 ㈱
㈱ コ ト ブ キ	モ ビ リ ア ㈱
コ ク ヨ ㈱	ヤ マ ギ ワ ㈱
住 江 織 物 ㈱	㈱リバコトレーディング
仙台デザイン専門学校	㈱ ダ ニ エ ル
㈱ 竹 中 工 務 店	（順不同）

会員数と事業規模の推移

このたび事務局では、表題の件について以下のように集計表を作成しました。昨年度から「会員拡大キャンペーン」が組織委員会で精力的に推進されており、その成果が（表1）に如実に表われています。

また、事業規模（表2）も昭和59年度を除き増大してきています。本年度は次年度へかけての記念事業もあり、規模、内容ともに拡大の方向です。ご参考までに掲載いたします。（事務局）

会 員 数 の 増 加 （表1）

（単位：人数）

年度	種別	名誉会員	正 会 員	準 会 員	賛助会員	総 計	増 加 数	%	備 考
昭和58. 4. 1		18	408	67	74	567	—	100	
59. 4. 1		20	418	68	79	585	18	103	
60. 4. 1		20	436	58	77	591	24	104	
61. 4. 1		22	447	51	79	599	32	105	
62. 4. 1		27	466	40	81	614	47	108	
63. 4. 1		30	517	36	89	672	105	118	会員拡大キャンペーン
63. 11. 25		32	574	28	96	730	58	129	

事業規模の推移（表2）

（単位：万円）

年 度	（収入） 予算規模	規模比率	（収入） 決算規模	規模比率	備 考
58	3,425	100	3,454	100	（含 JID '83展 400/429）
59	3,063	89	3,734	108	
60	3,713	108	3,492	101	（含 JID '85展 400/318）
61	3,631	106	3,300	95	
62	4,488	131	3,789	109	
（63）	（4,767）	139	—	—	（含 JID 30周年記念事業 700/700）

会員2氏に大阪府知事表彰

関西事業支部 広報部会

去る11月9日、関西事業支部の浅田弘之、加藤礼三両氏が、昭和63年度大阪府商工関係者表彰式に於いて「多年

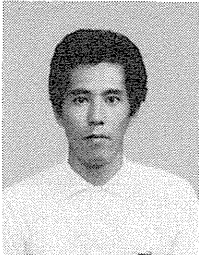
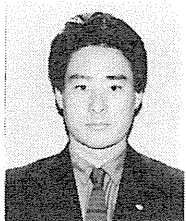
業務に精励し、事業の発展と商工業の振興に寄与」したとして、大阪府知事より表彰を受けられました。

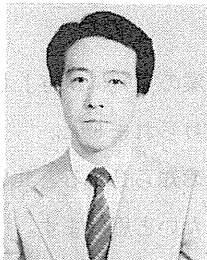
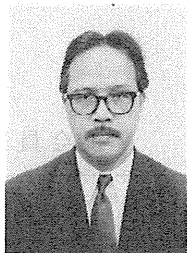
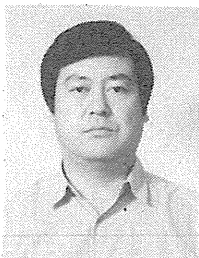
誠におめでたいことで、皆様にお知らせすると共に、今後の両氏の益々の活躍を期待したいと思います。

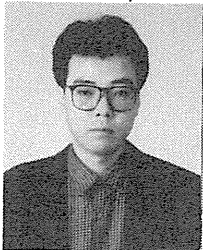
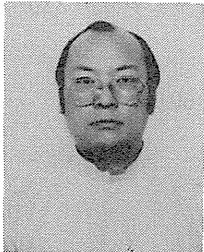
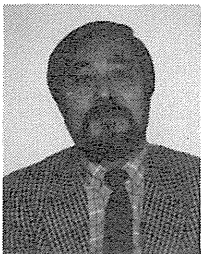
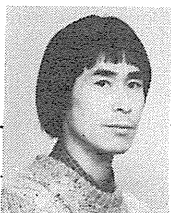
新入会員の紹介

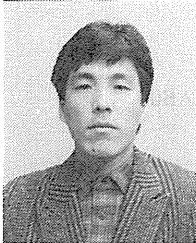
●新入会員

（正会員）

会員名及番号		住 所 及 電 話
ます たに とみ お 榎 谷 富 夫 （会員番号745） 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	富山美術工芸専門学校 富山県射水郡小杉町大江333 〒939-03 TEL 0766-55-1829 FAX 0766-55-2529 富山県富山市窪本町6-9 〒930 TEL 0764-32-1903 中 村 圭 介 ・ 山 品 元
ます い ゆき あき 増 井 幸 昭 （会員番号746） 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	株式会社 アーバン設計 三重県松阪市大黒田町300 倉口ビル401 〒515 TEL 0598-23-0450 FAX 0598-23-8881 三重県松阪市大黒田町297-4 〒515 TEL 0598-21-3020 奥 山 壽 一 ・ 林 寅 正

さ の ひ な こ 佐 野 日奈子 (会員番号 747) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	北海道インテリア研究所内 札幌インテリアコーディネータークラブB 北海道札幌市北区北34条西3丁目家研ビル2F 〒001 TEL 011-747-7722 FAX 011-757-5785 北海道札幌郡広島町高台町1-5-1 〒061-11 TEL 011-373-7017 山 本 信 ・ 田 中 博
く どう みち お 工 藤 道 雄 (会員番号 748) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	クドウ インテリア クリエイト 北海道札幌市白石区南郷通5丁目南1-19 〒003 TEL 011-865-6650 同 上 山 本 信 ・ 種 田 亜 男
さくらい ひろし 桜 井 宏 (会員番号 749) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	株式会社 シーグラス カンパニー 東京都墨田区吾妻橋2-18-15 〒130 TEL 03-624-4809 FAX 03-624-6400 千葉県柏市北柏4-7-4 〒277 TEL 0471-63-8623 島 崎 信 ・ 宮 澤 靖
よし だ 吉 田 ジュンコ (会員番号 750) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	SPACE: 2 神奈川県相模原市新磯野4-5-5-101 〒228 TEL 0462-55-1193 同 上 中 川 斉 二 ・ 森 谷 隆 男
せい け じゅんいち 清 家 淳 一 (会員番号 751) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	コクヨ株式会社 大阪府大阪市東成区大今里南6-1-1 〒537 TEL 06-976-1221 FAX 06-971-6482 大阪府泉南町信達牧野1000-71-B 303 〒590-05 TEL 0724-83-7039 山 崎 晶 ・ 浅 田 弘 之

ふじ た しん じ 藤 田 真 二 (会員番号 752) 	<勤務先・事務所> フリー 福井県福井市高木1丁目606-1 塚谷マンション4-D 〒910 TEL 0776-54-1935 <自 宅> 同 上 <推 薦 者> 栃 谷 賢 一 ・ 宇 賀 敏 夫
たか はし けん じ 高 橋 憲 治 (会員番号 753) 	<勤務先・事務所> インソニア フォーラム 有限会社 東京都新宿区西新宿8-12-1 サンパレス新宿311 〒160 TEL 03-366-4766 FAX 03-366-5195 <自 宅> 東京都多摩市諏訪1丁目66番 諏訪1丁目ハイツ806 〒206 TEL 0423-74-7305 <推 薦 者> 中 川 斉 二 ・ 宮 嶋 恵 美 子
こ ばやし まさ のり 小 林 正 典 (会員番号 754) 	<勤務先・事務所> 有限会社 インテリア サンライト 北海道札幌市中央区北7条西27丁目13 〒060 TEL 011-641-2868 FAX 011-641-6574 <自 宅> 同 上 TEL 011-611-4207 <推 薦 者> 大 阪 克 彦 ・ 中 村 昇
ふじ わら たか こ 藤 原 貴 子 (会員番号 755) 	<勤務先・事務所> プランニング ステージ 東京都豊島区北大塚1-3-6 ビラ平木302 〒170 TEL 03-940-0686 FAX 03-940-0686 <自 宅> 東京都北区西ヶ原1-3-4 須中ビル205 〒114 TEL 03-918-0783 <推 薦 者> 斉 藤 武 行 ・ 山 品 元
たき もと ひで お 瀧 本 英 男 (会員番号 756) 	<勤務先・事務所> 東京都立繊維工業試験場デザイン部 東京都八王子市明神町3丁目19番1号 〒192 TEL 0426-42-2858 FAX 0426-45-7405 <自 宅> 東京都府中市分梅町5-23-20 〒183 TEL 0423-64-2436 <推 薦 者> わたなべ ひろこ ・ 山 岸 柁 史

なか ざわ ひろし 中 沢 浩 (会員番号 757) 	<勤務先・事務所> エヌ 重縫デザイン研究所 神奈川県横浜市緑区しらとり台61-15-2 F 〒227 TEL 045-982-1733 FAX 045-982-1733 <自 宅> 神奈川県横浜市緑区しらとり台61-15 〒227 TEL 045-983-0585 <推 薦 者> 長 岡 貞 夫 ・ 市 瀬 昌 昭
なか そ ゆう じ 中 曾 雄 二 (会員番号 758) 	<勤務先・事務所> 株式会社 ヨコタデザインワークスタジオ 東京都渋谷区猿楽町9-8 代官山パークサイドビレッジ 320 〒150 TEL 03-476-5361 FAX 03-477-7126 (直通 464-6017) <自 宅> 東京都新宿区新宿6-25-14 太田ビル4 F 〒160 TEL 03-232-5882 <推 薦 者> 川 上 信 二 ・ 垂 見 健 三
う の たかし 宇 野 隆 (会員番号 759) 	<勤務先・事務所> 株式会社 ニシモト 京都営業所 京都府京都市右京区西京極堤外町1-7 〒615 TEL 075-314-3353 FAX 075-312-2476 <自 宅> 京都府京都市西京区桧原蛸田町31-18 〒615 TEL 075-392-2912 <推 薦 者> 富 田 卓 司 ・ 山 口 道 夫

(賛助会員)

会 員 名		住 所, 電 話 及 ご 担 当 者
ヒューマン・アカデミー	住 所	東京都新宿区新宿3-35-3 新宿君嶋ビル8階
		〒160 TEL 03-225-0621
		FAX 03-225-0623
	担 当 者	教学部課長 工 藤 正 樹
	紹 介 者	相 澤 晴 夫
株式会社 アトリエ・エイティエイト	住 所	東京都港区北青山2-11-10 青山野末ビル201号
		〒107 TEL 03-404-6288
		FAX 03-404-5640
	担 当 者	宮 地 祐 輔
	紹 介 者	光 藤 俊 夫

株式会社 マルニファニシング	住 所	千葉県松戸市小根本7-10 フコク生命ビル 〒271 TEL 0473-62-0202 FAX 0473-61-0289
	担 当 者 紹 介 者	統括本部企画課係長 松 田 光 仍 小 坂 希八郎

会員の移動

(正 会 員)

会 員 名	異 動 事 項	新
藤 川 征 輝 (関東 P 107)	勤 務 先	藤産業株 企画開発室室長 東京都港区西新橋1-5-14 信栄堂ビル7F 〒105 TEL 03-508-1846 FAX 03-508-8047
渡 辺 輝 男 (関東 P 130)	自 宅 転 居	東京都練馬区栄町11-14 メゾン江古田107号 〒176 TEL 03-557-6875
本 多 正 之 (中部 P 215)	事 務 所 自 宅	愛知県名古屋市名東区上社2-178 ハイネス真光106号室 〒465 TEL 052-772-0855
佐 藤 孝 男 (中部 P 210)	自 宅 移 転	愛知県小牧市光ヶ丘3-36-12 〒485 TEL 0568-79-3179
今 西 隆 次 (関西 P 150)	事 務 所 移 転	大阪市天王寺区北山町3-34 都住創北山町102 〒543 TEL 06-775-0292 ~ 3 FAX 06-775-0294

(賛助会員)

会 員 名	異 動 事 項	新
トーヨーサッシ(株) インテリア部 (新入会)	事 務 所 移 転	東京都江東区大島2丁目1-1 〒136 TEL 03-638-8132代 FAX 03-638-8274
	担 当 者	インテリア部長 大 興太郎

フランスベット(株) (P 267)	組 織 変 更 に よ る 担 当 者 役 職 名	研究部開発第二部部長
井 上 昇 (関東新入会)	自 宅 電 話 追 記	TEL 03-442-5976
佐 藤 雅 樹 (関東新入会)	自 宅	横浜市保土ヶ谷区月見台 9 <u>サンハウス 201</u>

上記〜〜については前号に印刷ミスがありました。慎しんで上記のように訂正させていただきます。

「協会印刷物」頒布案内

「インテリアデザイン」(機関誌)			
会 員	1 冊	無 料	
"	2 冊目以降	700 円	
	(送 料	200 円)	
会 員 外	(送料共	1,200 円)	

会 員 名 簿			
会 員	1 冊	無 料	
"	2 冊目以降	3,000 円	
	(送料共)		
会 員 外	6,000 円	(")	

年鑑「日本のインテリアデザイン」— しつらいの創造		パンフレット 申込ハガキあり
会 員	13,000 円 (送料共)	
会 員 外	14,600 円 (")	

「世 界 の イ ン テ リ ア 」		パンフレット 申込ハガキあり
会 員	13,000 円 (送料共)	
会 員 外	13,950 円 (")	

最新版インテリアマップTOKYO AREA			
会 員	定価 1,700 円	1,610 円 (送料共)	
会 員 外	(送料 250 円)	1,950 円 (")	

デザインの業務および報酬基準		報 酬 基 準 額	契 約 書
インテリア	会 員	300 円	100 円
	(会 員 外)	(500 円)	(100 円)
プロダクト	会 員	300 円	200 円
	(会 員 外)	(500 円)	(500 円)

「大 型 会 員 証」	
正 会 員	3,000 円 (送 料 共)

事務局短信

- ① 次期選考委員の開票結果が、宇塚嘉寿選挙管理委員長から寄せられました。タイミングよく本号に掲載いたします。正会員各位、選挙へのご協力ありがとうございます。
- ② 秋も深まった日、名誉理事の豊口克平さんから次のようなお葉書をいただきました。
「御無沙汰しております。その後体調も回復、毎日絵に興じておりますが、年なので外出は無理、皆さんどうぞお遊びに」(原文のまま)。
お元気で何よりです。(事務局長)
- ③ 今冬は寒気厳しいとの予報です。
会員各位のご自愛を祈っております。
- ④ 本号と同封で、「1988 JID協会賞」の案内をお届けいたします。1月のお忙しい時期と重なりますが、ぜひ会員の積極的なご推薦をお願いいたします。推薦資

料等が同時添付できない場合、推薦文だけでも、あらかじめお送り下さい。〆切日は 1.27(金)です。

- ⑤ 1989年、JID新春交礼会について、交流委員会が検討中です。年明けすぐにご案内できると思います。例年1月末に開催されて来ました。ご参加、ご予定下さい。
- ⑥ お願い。会費未納の方、年末も迫りました。財政は予断を許しません。至急納入のアクションを起して下さい。
- ⑦ 事務局の年末年始にかけての事務取扱いスケジュールは、下記の通りです。ご不自由をおかけいたしますが、ご協力の程よろしくお願いいたします。

年内事務：12月26日(月)まで
 新年事務：1月6日(金)より
 (1月6日は正午まで)

(事務局)

JID賛助会員ディレクトリー (抜粋)

(株)速水家具卸センター 東京都台東区下谷2-7-2 〒110 (03)876-1111 岩下直臣(外商部、インテリアデザイン課)	福 山 建 設 (株) 大阪市北区天神橋3-8-6 〒530 (06)353-0055 松岡孝将(建設部設計課課長)
富 国 (株) 東京都中央区日本橋小伝馬町12-9 〒103 滋賀ビル (03)662-1901 下村 忠(企画開発部長)	(株)フジエテキスタイル 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-7-12 〒151 (03)478-6281 桜井照也(企画開発室)
フ ラ ン ス ベ ッ ト (株) 東京都昭島市中神町1148 〒196 (0425)43-3111 福田耕生(研究部開発第二部部長)	プ ラ ス (株) 東京都文京区音羽1-20-11 〒112 (03)942-3171 関 芳郎(オフィスシステム営業部長)

(株) ホ ウ ト ク 愛知県小牧市大字上末字東山 3509-190 〒485 (0568) 79-3281 (代) 山形修二 (ホウトクデザインセンター)	ホ ウ ト ク 販 売 (株) 東京都千代田区神田和泉町 1-277 〒101 秋葉原協銀ビル 6 F (03) 866-7291 ショールーム (03) 348-7481 大溝 浩 (インテリア室)
ボ デ ィ ソ ニ ッ ク (株) 東京都港区南青山 1-1-1 〒107 (03) 475-1815 喜田圭一郎 (営業本部事業企画室次長)	(株) 松 坂 屋 上野店家具装飾部 東京都台東区上野 3-29-5 〒110 (03) 832-1111 内線 2250 秋谷秀雄 (設計課長)
松 下 電 工 (株) 大阪府門真市大字門真 1048 〒571 (06) 908-1131 大堀治宣 (デザイン・宣伝部, A & I 総合デザイン企画)	三 国 商 工 (株) 東京都千代田区外神田 1-11-5 〒101 (03) 253-3920 大石忠久 (取締役営業五部部長) 皆川裕行 (営業五部営業第五課)
ミ サ ワ ホ ー ム (株) 商品企画部 東京都新宿区西新宿 2-4-1 〒163 (03) 345-1111 (代) 横山英俊 (商品企画部主事)	三 井 ホ ー ム イ ン テ リ ア (株) 東京都新宿区西新宿 2-1-1 〒163 (03) 342-4931 蒲 米彌 (業務部部长)
(株) 三 越 東京都中央区日本橋室町 1-7-4 〒103 (03) 241-3311 (内 3760) 児玉力也 (商品本部家具電器部)	(株) ミ ヤ マ 東京都品川区東五反田 1-25-19 〒141 島津山南ハイツ 1003号 (03) 447-4831 堀田 誠
三 好 木 工 (株) 東京都文京区湯島 4-9-2 〒113 (03) 811-3221 三好基資 (代表取締役社長)	ミ リ ケ ン ・ ジ ャ パ ン (株) 東京都港区赤坂 3-21-20 〒101 赤坂ロングビーチビル (03) 584-4741 田村一郎 (代表取締役)

1988/11・12

頒価 300 円 (送料共)

昭和63年12月20日発行 (日本インテリアデザイナー協会月報 1988年通巻 153号)

発行・社団法人 日本インテリアデザイナー協会 印刷所・(社福)コロニー印刷

振 替・東京 8-76389